

は し が き

この記録は、平成2年6月10日執行の参議院福岡県選出議員補欠選挙及び同日執行の福岡県議会議員補欠選挙（北九州市八幡西区選挙区・糸島郡選挙区）並びに平成2年3月4日から平成2年7月1日までに執行された市町村長・議会議員選挙の結果を収録したものである。

参議院議員補欠選挙は、平成2年4月19日に小野明議員が急死したことに伴って行われたもので、平成2年5月2日自治大臣からの欠員通知を受理、5月23日告示、6月10日投票の日程で執行された。

福岡県では昨年2月の参議院議員補欠選挙以来4度目の国政選挙で、この間、選挙の結果は、平成元年2月12日の参議院議員補欠選挙で社会党候補が自民党候補を大差で破り、平成元年7月23日の参議院議員通常選挙では与野党が逆転、平成2年2月18日の衆議院議員総選挙では自民党が安定多数を確保するなど、有権者の投票動向が変化する中で、今回の補欠選挙では、どのような審判が下されるのか、今後の民意の動向を探る重要な選挙となった。

選挙は自民、社会二大政党の一騎打ちとなり、中央では、衆参ねじれ現象解消のための選挙、地元では、来春の知事選挙の前哨戦としての位置づけがなされ、両党の党首がそれぞれ三度応援のため来福したのをはじめ、現職国会議員が多数応援にかけつけ、激しい選挙戦を展開することとなった。

選挙の結果は、社会党候補が自民党候補を大差で破り、前回参議院議員補欠選挙以来、民意が大きくゆれ動いていることを示す結果となった。

一方、投票率を見ると県平均が47.01%で、補欠選挙としては、まずまずの投票率であったが、有権者の半数以上が投票に参加しなかったことについては、今後課題を残すこととなった。

以上、今回の参議院議員補欠選挙を簡単に振り返ってみたが、現職議員の死亡に伴う突然の選挙であり、限られた期間内に膨大な事務処理を余儀なくされたにもかかわらず、大過なく終えることができたのは、各市区町村選挙管理委員会並びに関係各位の御努力、御協力のお陰と深く感謝する次第である。

平成2年7月

福岡県選挙管理委員会
委員長 田 辺 俊 明